

令和元年12月 9日

学 生 各 位

情報システム部局実施責任者 劉 庭秀

国際文化研究科ネットワークの利用方法について（通知）

各種オリエンテーションでも周知しておりますが、国際文化研究科のネットワークの利用について、下記の通り改めて通知しますので、適切な運用を心掛けてください。

記

1. 国際文化研究科ネットワークの利用方法

◆ネットワークへの接続

・国際文化研究科の全ての講座で利用できるネットワーク（LAN）は各講座単位で管理されています。

・ネットワークに自分のパソコンを接続する際は、必ず次の項目を届け出てください。

- (1) パソコンのメーカー・機種名（ノートブックとデスクトップを区分）
- (2) OS（Windows8.1, 10 など）
- (3) 物理アドレス（MAC アドレス）→パソコンに固有の識別番号
- (4) ウィルス対策ソフト

・すでにセキュリティサポートの終了した Windows XP や Window 7※等の保護されていないパソコンをネットワークに接続してはいけません。

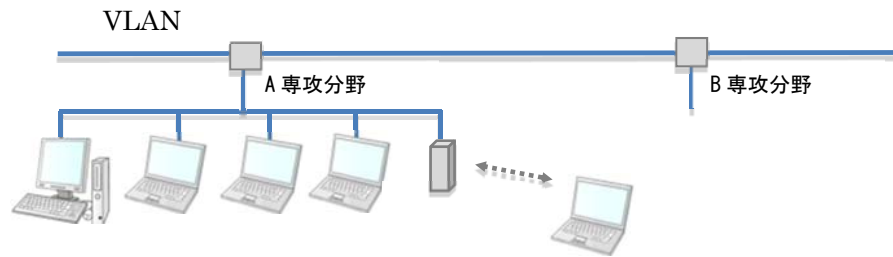
・無線 LAN を使って接続する場合は、必ず所属する講座の無線ルータ（ハブ）を利用してください。他専攻分野のルータを利用してはいけません。

※2020年1月14日に Microsoft Windows 7 及び Windows Server 2008 のサポートが終了します。

サポート終了後は新たな脆弱性が発見されても、ベンダによる修正が行われません。よって、脆弱性を悪用した攻撃による情報漏洩や意図しないサービス停止などの被害を受ける可能性が高くなります。

該当の製品を使用している場合は、サポート終了までに後継製品へ移行する、又はサポート終了後の使用をやめる等の対策を講じてください。

研究科ネットワーク概念図



重要

ネットワーク上で重大な問題が発生した場合は、その原因となっているパソコンを含む講座全体を LAN から切り離す処置をとる場合があります。したがって、一人の不注意により専攻分野全体、場合によっては研究科全体が多大な被害を被る可能性があります。

2. インターネット利用上の注意事項

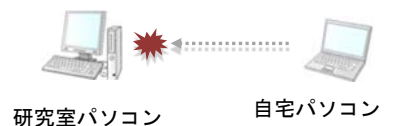
◆ウィルスなどから身を守る

- (1) パソコンにはアンチウイルス、ファイヤーウォール等のセキュリティソフトを必ずインストールしてください。

東北大学総合情報ネットワークシステム (<http://www.tains.tohoku.ac.jp/>)では、本学の利用者にセキュリティ対策ソフトを無償で配布しています。

- (2) セキュリティソフト、OS (Windows 等) は常にアップデートしないと意味がありません。

- (3) パソコンを研究科のネットワークに接続しない場合でも、USB メモリなどを介してウィルスが持ち込まれることがあります。自宅のパソコンにも必ずウィルス対策をしてください。



- (4) ウィルスが入ったファイルを開かなくとも、パソコンの設定 (Java Script や ActiveX を利用可にしている場合) によっては、ウェブサイトにアクセスしただけでウィルスに感染したり、データを盗まれたりします。

重要

- ・セキュリティソフトは入れたままにせず、常に最新バージョンにアップデートすること。
- ・ウィルスに感染したことがわかったら、すぐにパソコンをネットワークから切り離し、講座の教員に報告してください。

◆著作権侵害の危険性

- (1) Winny などのいわゆるファイル共有ソフトの利用は厳禁します。
- (2) 電子ジャーナルを不正ダウンロードしない。

図書館ポータルサイトを利用せず、Google 等の検索で電子ジャーナルサイトにアクセスする場合でも、学内ネットからアクセスする限り、図書館ポータルサイトからアクセスしたのと同じことになります。不正利用と判断されると電子ジャーナルが利用できなくなり、東北大学全体に多大な迷惑をかけることになります。

研究科 Web サイトの「在学生の方へ」のページからつぎのガイドラインにアクセスできますので、必ず一読願います。

コンピュータネットワーク 安全・倫理に関するガイドライン

Computer Network Guideline For Security And Ethical Conduct

URL : <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/i-synergy/security/data/policy/guideline-j.pdf>